



よいここのために 手を取りあおう



2025-26 年度 RI メッセージ
国際ロータリー会長
フランチェスコ・アレツツォ氏

Weekly Bulletin

藤枝南ロータリークラブ 会報

例会：毎週金曜日
会場：小杉苑 藤枝市青木 2-35-30
TEL：054-641-3321

事務局：藤枝商工会議所内
TEL：054-646-3919 FAX：054-643-2000
E-mail：jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

2025-26 年度
 会長：鈴木寿幸 副会長：桑原 茂 幹事：加藤智之 副幹事：杉浦 聡

例会 第 1633 回 クラブリーダーシップラーニングセミナー/ツインメッセ

会 長 挨 拶

鈴木寿幸君



皆さんこんにちは。

今年度、ホストクラブを務めさせていただきます、藤枝南 RC 会長の鈴木でございます。

本日は、国際ロータリー第 2620 地区 73 クラブよりお集りの次年度の会長・幹事のみなさまをはじめ、多くのロータリアンの皆様、ようこそおいでくださいました。

誠にありがとうございます。そして稲葉雅之ガバナー・若林秀典ガバナーエレクト・パスト会長・地区役員のみなさま、本日は本当にご苦労様でございます。

昨年 4 月 20 日に、伊東西ロータリークラブをホストクラブとして、ZOOMで開催されました地区研修・協議会におきまして、2026 年度 クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーのホストクラブに「藤枝南 RC」が指名されました。以来当クラブでは、早川実行委員長のもと、各クラブの協力を得て、私どもクラブ全員で準備を進めてまいりました。

まず、第一に、前年度までは、ZOOMでの開催でしたので、会場をどこにするか。

本日の出席者 800 名規模を収容できる施設という

ことで、検討を重ねてまいりました結果、本日の会場である「ツインメッセ静岡」にお願いすることにいたしました。

幸い、地区パスト会長をはじめ、役員の皆様のお力添えをいただき、本日開催の運びとなりました。改めて厚く御礼申し上げます。

さて、このクラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーは、ガバナー・ガバナーエレクト・地区役員等の皆様と、クラブの次期指導者が、各自の知識やスキル、考え方などを共有し、単に「情報を聞いた・読んだ」だけでなく、自分の中で理解して使えるようになるための勉強会であります。

さらには、次年度、2026-27 年度の RI 会長メッセージ「持続可能なインパクトを生み出そう」ということを活かし、推進していくセミナーでもあると思います。

次年度のクラブの指導者の皆様がこのセミナーに参加され、決意を新たにするとともに責任と誇りをもって目標を達成し、ご健勝で、今後ますますご活躍されるとともに 73 クラブの益々の発展をご祈念申しまして、ホストクラブの挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

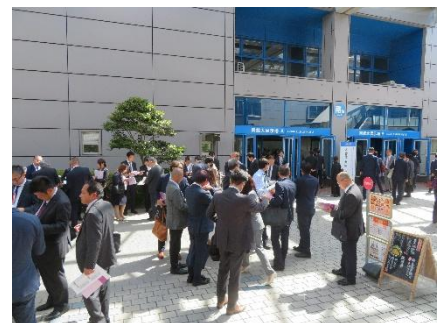
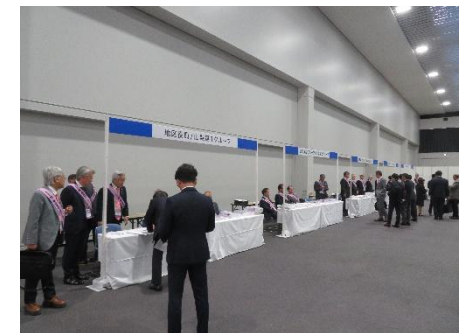
出席報告

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
37/49 75.51%	47/49 95.91%

例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
5/15(金) 第 1634 回	会員卓話	理事会
5/23(土) 第 1635 回	親睦旅行	福岡
5/28(木) 第 1636 回	35 周年記念	小杉苑
6/5(金) 第 1637 回	旅行報告	理事会





(担当/秋谷貴也君)

帰国まで残り2か月を切りました。まだ実感はありませんが、時間は確実に過ぎていていると感じます。この一か月にあったことを紹介します。

4月5日はイースターでした。家族全員で教会に行き、キャンドルを持って教会の周辺を行進しました。その後は家に帰り、さまざまな種類のハムなどのお肉を食べました。ハンガリーではキリスト教徒が多数を占めており、4月2日から休日となっていました。イースターはキリスト教にとってとても重要な行事の一つで、クリスマスのように家族と過ごすのが一般的です。

4月6日には、Hollókó という場所にホストファミリーと一緒に行きました。そこで知り合いの日本人大学生と偶然同じ駐車場になり、ハンガリーの小ささを感じました。ここではハンガリー特有のイースターの伝統行事が行われていました。伝統衣装を着て行進した後、男性が女性にポエムを読み、その後水をかけるというものでした。全身びしょ濡れになっている人もいて、とても驚きましたが、貴重な文化体験でした。また一緒にダンスも踊り、とても楽しい時間でした。

その日にはホストの親戚も集まり、食事をしました。各家庭がハムを持ち寄り、7種類ほどを食べ比べました。ホストファザーは6人兄弟で、とてもにぎやかで楽しい時間でした。男性陣でポエムを読み、女性に水をかけるという伝統も実際に体験しました。

4月7日には、ハンガリー南部にある Pécs という街に行きました。バジリカや教会、美術館、展望台などさまざまな場所を巡りました。とても美しい街で、内容の濃い一日を過ごすことができました。

4月9日にはホストファザーと一緒に街を散歩しました。長寿の木を見たり、丘の上で横になったりして、ゆったりとした時間を過ごしました。

4月10日には若者などに選挙を促すための無料のコンサートが開催されました。ホストと行きましたが、そこは人で埋め尽くされていました。自分がそこで感じたのは二つある政党の中一方の方を投票するように促すようなものであるということです。そのコンサート中では今の政党を侮辱する言葉を皆が口をそろえて言っていました。またロシア人は家に帰れと言った発言も多々ありました。

4月11日と12日には、前回と同じ友達と一緒に MondoCon という日本のコミケのようなイベントに行きました。11日にはコスプレ披露やコンサートがありました。コンサートでは Coda という『ジョジョの奇妙な冒険』のオープニングを歌っている歌手が出演し、最前列で見ることができました。今までで一番楽しいコンサートでした。その後サイン会もあり、日本語で会話をすることができ、とても嬉しかったです。コンサート中に日本語で声をかけていたこともあり、顔を覚えてもらっていました。友達も日本語を学んでおり、日本語で会話できたことをとても喜んでいました。この経験を通して、日本がさらに好きになりました。

4月17日から19日には、ロータリーのキャンプがありました。山を散歩したり、滝を見たり、洞窟を訪れたりしました。宿泊先のレストランでの食事はビュッフェ形式で、とてもおいしかったです。夜はみんなで話し、とても楽しい時間を過ごしました。

19日はホストファミリーを変える日でもあり、最後の昼食を一緒に取りました。フォンデュグリルを行い、初めての食事スタイルでしたが、とても楽しくおいしかったです。

これまでブダ側に住んでいましたが、この日からペスト側に移りました。このホストファミリーが最後の家族になります。場所はブダペストの第16区で、中心地から少し離れていますが、自然が多くとても心地よい環境です。学校までは電車や地下鉄を使って約1時間かかります。

新しいホストファミリーは両親と3人の子どもで構成されています。現在は9歳と20歳の兄弟と一緒に生活しており、20歳の兄は以前メキシコに交換留学していたそうです。もう一人の娘は台湾に留学中で、6月半ばに帰ってくる予定です。

両親はとても優しいですが、初日にハンガリー語で話してほしいとお願いしたところ、父親から「自分にはその忍耐がないので英語で話す」と言われました。彼はハンガリー語を学ぶことにあまり意味を感じていないようでした。自分は挑戦したいと伝えましたが、彼の考えにも一理あると感じました。父親はとても知識が豊富で、いくつかの事業を行っており、その経験からくる強い自信を感じます。

4月26日には、日本人学生と日本語を学ぶハンガリー人と一緒にピクニックをしました。大学の話な

どをして楽しい時間を過ごしました。久しぶりに対面で日本語を話すことができ、とても嬉しかったです。静岡大学や大阪大学から来ている学生とも交流しました。

4月30日には、学校で最高学年の卒業式のような行事がありました。校内の装飾やクラスの準備を行いました。その後、卒業生がすべてのクラスを回りました。自分たちは主に準備を担当していたため、少し退屈を感じる部分もありました。現在は大学入試の期間のため、学校は休みになっています。

残りの2か月は、一日一日を大切に、この時間をしっかりと味わいながら、悔いのないように過ごしていきたいと思います